

令和8年度

運営に関する計画

【4月計画案】

大阪市立小林小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和7年度の「運営に関する計画」における最終評価から、本校の現状と課題は以下のとおりである。

【安全・安心な教育の推進】

「安全・安心な教育の推進」については、2つの基本的な方向のもと、いじめや不登校の対応をすることや自己肯定感を向上させることに取り組んできた。「安全・安心な教育環境の実現」に向けては、「いじめ・いのちについて考える日」を年間3回実施し、「いじめは絶対にしてはいけない」という指導を一貫して行ってきた。認知したいじめについては、「大阪市いじめ対策基本方針」に基づき、全教職員で共有して問題解決にあたっている。令和7年2月に実施した「教育振興基本計画に係るアンケート」の結果からも、児童は学校について「みんなの仲がいい」「いじめのない」、安全・安心な場所であることを求めていることがうかがえる。引き続き、「いじめは絶対にしてはいけない」という指導を継続し、安心して過ごせる学校を目指していきたい。「豊かな心の育成」に向けては、学級での活動や児童会での活動を通じて、自己肯定感の向上を目指してきた。「自分のよさ」を感じられるように、毎月行う「生活振り返りアンケート」において褒められた経験を想起させることで、令和3年度に比べて自己肯定感は高まってきた。しかし、大阪市学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、3割弱の児童が否定的な回答をするなど、全国や大阪市と比べて依然として低いことが課題である。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

「未来を切り拓く学力・体力の向上」については、2つの基本的な方向のもと、算数科における学力の向上や運動(体を動かす遊びを含む)が好きな児童の増加を目指して取り組んできた。「誰一人取り残さない学力の向上」に向けては、基礎学力の定着に課題があることから、算数科の学習時間の始めに「計算タイム(5分間程度の学年に応じた計算プリントに取り組む時間)」を全学年で行ってきた。さらに、授業の終わりには10分程度、繰り返し練習問題に取り組む時間を設けることで、学力の向上につながってきている。引き続き、児童一人一人に合わせた個別最適な学びの推進に向けた支援を行っていく。「健やかな体の育成」にむけては、主体的に運動する習慣を身に付け、基礎的な体力を養うとともに、健康的な生活習慣を心掛けるよう取り組みを行ってきた。なわとびやかかけ足の集会を実施することで、休み時間にもなわとびやかかけ足に取り組む児童の姿が見られた。また、健康的な生活習慣に向けては、「けんこう週間」を年2回設け、手洗い・うがいを定期的に行うように促すことができた。手洗い・うがいの習慣は身に付きつつあるものの、毎月の「けんこうしらべ」における「9時・10時に寝ましたか」の項目において、「いいえ」と答える児童が3割強いることから生活習慣の改善が課題と言える。

【学びを支える教育環境の充実】

「学びを支える教育環境の充実」については、2つの基本的な方向のもと、ICTを活用した教育の推進および働き方改革の推進に取り組んできた。「教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」に向けては、学習者用端末（コンバーチブル型PC）を活用し、児童の情報活用能力の向上に取り組んできた。外部講師を招いて情報モラル教育に取り組むなど、児童の発達段階に応じた情報教育を行った。スマートフォン等は便利である一方、ゲーム・動画・SNS等に時間を費やす児童が増加し、健康や生活習慣への影響やトラブルの増加につながってきている。急速に進んでいるデジタル社会の中で、スマートフォンを含む情報機器の適切な利用の仕方を学んでいくことは喫緊の課題である。情報機器は、調べ学習や学習動画の視聴など多様な目的に利用することもできるので、家庭と連携を図りながら適切に利用できるように取り組みを進めていきたい。「人材の確保・育成としなやかな組織づくり」に向けては、「学校園における働き方改革プラン」に基づき、長時間勤務の削減に取り組んできた。学校行事や会議の精選、週当たりの授業時数の削減などのカリキュラム・マネジメントに取り組むことで、時間外勤務時間は減少傾向にある。引き続き、業務改善に取り組み、児童一人一人に寄り添う時間を確保していきたい。

上記のような本校の現状と課題をふまえ、以下の中期目標を設定した。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。

【R7:72.9%】

- ② 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。

【R7:72.7%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、令和7年度より4ポイント向上させる。

【R7:0.85】 ※0.01を1ポイントとする。

- ② 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

【R7:83.5%】

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。

【R7:61.3%】

- ② 教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

【校内調査 R7:26.1時間】

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。

【R7:72.9%】

- ② 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。

【R7:72.7%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

【R7:3年 0.72 R7:4年 0.72 R7:5年 0.99】 ※0.01を1ポイントとする。

- ② 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【R7:83.5%】

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を63%以上にする。

【R7:61.3%】

- ② 教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下とする。

【校内調査 R7:26.1時間】

3 本年度の自己評価結果の総括

○中期目標の達成に向けた年度目標について

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

○年度目標の達成に向けた取組内容について

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立小林小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>① 小学校学力経年調査における「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。【R7:72.9%】</p> <p>② 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。【R7:72.7%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向性1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童と教員との信頼関係を深め、児童が安心して過ごせる学校づくりをする。</p> <p>指標・ 「いじめ・いのちについて考える日」を年3回実施し、いじめについての学習やいじめをなくしていく取り組みを全校で実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向性2 豊かな心の育成】</p> <p>児童一人一人が「自分にはよいところがある」「自分は大切な存在だ」と感じられるような教育活動を進める。</p> <p>指標・ 「生活振り返りアンケート」を年間3回以上実施し、友だちや先生、家族から褒められた経験を想起させる。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標の達成状況】</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>【取組内容の進捗状況の結果と分析】</p> <p>①</p> <p>②</p>	
年度末への改善点	
<p>【年度目標】</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>【取組内容】</p> <p>①</p> <p>②</p>	

大阪市立小林小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>① 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 【R7:3年 0.72 R7:4年 0.72 R7:5年 0.99】 ※0.01を1ポイントとする。</p> <p>② 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 【R7:83.5%】</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 算数科の授業づくりや計算力を高める取り組みを行い、算数科における基礎・基本の力を身につけることができるようにする。</p> <p>指標 ・ 教員全員が参加する授業研究会を年3回以上実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 健康安全・運動的行事を充実させ、運動と健康に対する意識を高める。</p> <p>指標 ・ 全学年対象の健康安全・運動的行事を年間3回以上行う。 ・ 全学年、「食に関する指導」を年2回以上行う。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標の達成状況】</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>【取組内容の進捗状況の結果と分析】</p> <p>①</p> <p>②</p>	
年度末への改善点	
<p>【年度目標】</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>【取組内容】</p> <p>①</p> <p>②</p>	

大阪市立小林小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>① 小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を63%以上にする。 【R7:61.3%】</p> <p>② 教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下とする。 【校内調査 R7:26.1時間】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 情報社会の特性を理解し、適正な活動ができるよう指導する。</p> <p>指標 ・ 全学年、情報モラルについての学習を年1回以上行う。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 学校行事や会議の精選・短縮などにより、働き方改革を推進する。</p> <p>指標 ・ 教員全員が参加する学校行事や会議の在り方についての話し合いを年1回以上行う。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標の達成状況】</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>【取組内容の進捗状況の結果と分析】</p> <p>①</p> <p>②</p>	
年度末への改善点	
<p>【年度目標】</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>【取組内容】</p> <p>①</p> <p>②</p>	